

## R5年度〔2学期〕学校評価 自己評価書

達成度(評価基準) 1(50%未満) 2(50~79%) 3(80~100%)

## 1 学校の重点目標

- ・子供が「わかる・できる」と実感することができる授業の創造に取り組む。
- ・学級の親和的な雰囲気の醸成に取り組み、日々の子供の状況を把握しながら、いじめの未然防止や早期発見を推進する。
- ・たくましい心と身体の調和のとれた育成を目指し、全教育活動を通じた体力向上に取り組む。
- ・外部人材の積極的な活用を図り、多様な人材を活用することで高い学習効果を得ることができる。

## 2 課題と改善策

	評価項目	職員	改善方策
学力向上	1 確かな学力の定着(平均85%以上)	2.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な内容の理解につながる学習指導の充実を図り、「分かる授業」の実現に取り組む。</li> <li>・学年の発達段階に合わせて、授業のまとめを見学自ら考えたり、書いたりする活動を実践する。</li> <li>・「吉野東小学習スタンダード」の効果的な活用を推進する。</li> <li>・学習支援ボランティアの更なる活用促進に取り組む。</li> </ul>
	2 めあてとまとめの整合性及び構造的な板書	2.3	
	3「吉野東小学習スタンダード」の実践	2.4	
	4 個に応じた学習指導の工夫	2.3	
	5「主体的・対話的で深い学び」をめざした授業改善	2.2	
	6 外部人材の積極的な活用	2.1	
生徒指導	1 あいさつの励行に取り組む指導	2.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒指導の3機能」を生かした生徒指導の工夫や教師の働きかけを充実させる。</li> <li>・どの学級においても、「いじめ」の未然防止、早期発見のために、「誰もが楽しい」と思える学級づくりに取り組む。</li> <li>・生徒指導に係る共通実践事項を全体で確認し、重点的に指導すべき事項については、一事徹底を心がける。</li> </ul>
	2 いじめや不登校の未然防止・早期対応	2.4	
	3 子供や保護者の心に届く生徒指導	2.4	
	4 子供の人権を尊重した指導	2.5	
	5 体罰や暴言がない適切な指導	2.6	
	6 保護者との円滑な連携	2.6	
保健・安全	1 保健指導の充実	2.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症予防のための取組を充実させて、健康な学校生活を送るようにする。</li> <li>・冬場の体力づくりの一環として、跳び縄運動に全校で取り組む。</li> <li>・う歯治療率の向上のために、保健だよりの発行や治療勧告による啓発を行う。</li> <li>・特に下校時の安全指導について、児童への指導を徹底する。</li> </ul>
	2 子供の疾病治療の推進	2.1	
	3 安心・安全を担保する安全指導や環境整備	2.5	
	4 適切な給食指導	2.7	
	5 子供の体力向上を目指す授業や活動の充実	2.2	

## 3 次学期に向けての取組

- (1) 学力向上に向けては、全学級で共通した指導ができるように共通実践事項「吉野東のスタンダード」の更なる活用と定着に向けて取り組んでいきたい。
- (2) 児童の体力の現状に関して、大きな課題が見られるので「体力向上」に向けた取組を全校態勢で行っていく必要がある。